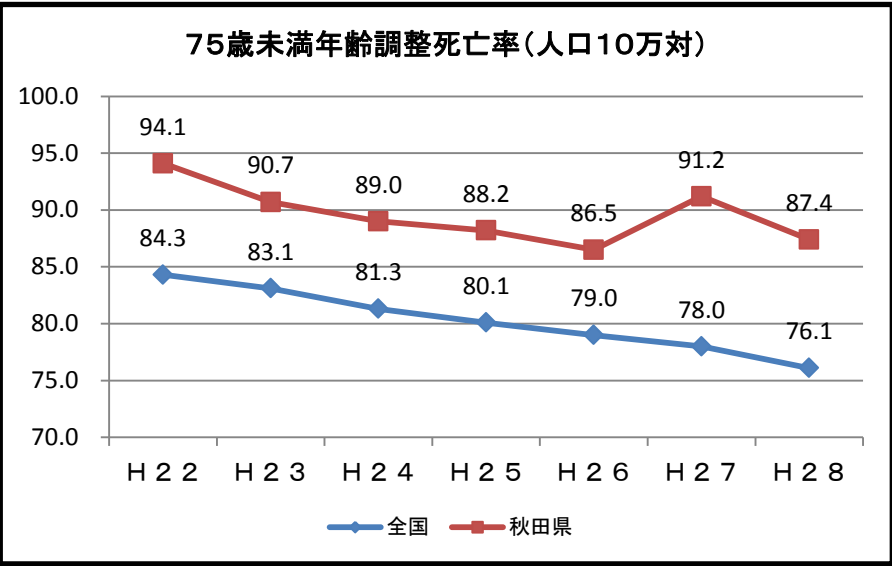


【目標】
◆ がんによる死亡を減らすとともに、がん患者が安心して生活し、自分らしく生きることのできる地域社会をめざす。

【計画の期間】
◆ 平成30年度から平成35年度まで（6年間）

- 【現状と課題】
- **がんの罹患**
 - ・平成27年のがんの罹患患者数は10,736人で、多い順に、大腸がん、胃がん、肺がん、乳がんである。
 - ・男女ともに大腸がん、肺がんの罹患患者が増加しており、女性の乳がんも増加傾向にある。
 - **がんの死亡**
 - ・がんは、昭和59年から本県における死因の第1位であり、平成28年はがんにより4,242人が死亡している。
 - ・部位別では、肺がん、胃がん、大腸がんの死亡者数が上位となっており、70歳以上の死亡者が75%を占めている。
 - ・人口10万人当たりの75歳未満年齢調整死亡率は、全国値より高い値で推移しており、平成28年は全国第2位である。
 - **がん検診**
 - ・市町村の実施するがん検診の受診率は、第2期計画の目標の50%に達していない。
 - **がん医療**
 - ・がん診療連携拠点病院等の整備により病院間の連携は強化されたが、医師の地域・診療科の偏在がある。



【主な施策と指標】

施策		主な取組
がん予防 (1次予防)	・喫煙率の低減 ・食生活や運動等の生活習慣の改善	・公共施設等における受動喫煙防止対策の推進、未成年者の喫煙防止のための啓発、禁煙支援 ・生活習慣改善に向けた県民運動の推進
がん検診 (2次予防)	・がん検診及び精密検査の受診率向上 ・がん検診の精度管理	・秋田県健康づくり県民運動推進協議会、マスコミ等と連携したがん検診の必要性の啓発 ・市町村・検診機関別の精度管理指標に基づく評価、改善指導の実施
がん医療	・がん医療体制の充実と患者支援 ・ライフステージに対応した医療体制の整備	・拠点病院等を中心としたがん医療提供体制の強化 ・チーム医療の推進 ・情報提供・相談支援の強化
がんとの共生	・がんと診断された時からの緩和ケア ・地域との連携によるがん患者支援	・緩和ケアを組み入れたがん医療体制の整備 ・がん相談支援センター機能の強化 ・切れ目のない医療・ケアの提供と質の向上 ・労働関係機関と連携した就労支援の実施 ・ライフステージに応じた教育・就労・自立等の支援
基盤の整備	・がん研究 ・人材育成 ・がん教育、がんに関する知識の普及啓発	・多目的コホート研究への協力 ・専門性の高い医療従事者の育成 ・学校におけるがん教育の実施

主な指標	現状値	目標値(H35)
がんの年齢調整死亡率 (75歳未満)	87.4 (H28)	76.0
喫煙者の割合	男性33.9% 女性11.0% (H27)	男性24.3% 女性6.6%
がん検診受診率	20.3~45.9% (H27)	50%
がん検診精検受診率	71.0~84.7% (H26)	90%
緩和ケア研修会 修了者数(医師)	1,154人 (H28)	がん医療に携わる全ての医師
ピアサポーター(がん患者・経験者)の協力を得て相談を実施しているがん相談支援センター数	1病院 (H27)	12病院

- 【計画の推進】
- ◆ 取組の主体となる県、市町村、県民、医療機関、検診機関、関係団体などの役割を明記。
 - ◆ 中間年度（平成32年度）、最終年度（平成35年度）の目標値を設定し、必要に応じて計画の見直しを実施。
 - ◆ 重点的に取り組むべき施策について、県の行動内容や行動時期等を明記したアクションプランを作成。
 - ◆ 計画に基づき県が実施した施策を毎年度公表。